

ADMISSION POLICY / 求める学生像

◆国際交流研究科

- 1 人文・社会科学の特定領域に関する基礎的知識を有するとともに、学際的・複眼的な視点からさらに専門的に研究したいと思っている人。
- 2 国際社会、地域社会、現代社会の諸問題に関心を持ち、それらを解明し解決したいと思っている人。
- 3 国際社会の一員として自覚的に行動し、国際交流の実践者として社会に貢献したいと思っている人。

◆心理学研究科

専攻に関わる心理学的方法論を用いて、研究を実践し高度な専門職業人として社会の発展および個人の健康増進に寄与したいと願っている人。

<現代心理学専攻>

- 1 すでに学部レベルの心理学については、幅広く、一定のレベルでの学習を終えていること。
- 2 さらに科学的心理学を幅広く、かつ専門領域にも特化してより深く学ぶことにより、心理学の専門家（研究者あるいは高度実務家）として社会に貢献したいという意欲を持っている人。

<臨床心理学専攻>

- 1 公認心理師・臨床心理士等のこころの専門家としての資格取得を目指すに際し、心理臨床・カウンセリングに関する幅広い分野に関心を持ち、個人に対する援助とともに地域社会への貢献を視野に臨床心理学を学ぼうとする人。
- 2 また、すでに心理学関連領域で働いているが、さらなる知識・技術習得の機会を持ちたいとの意欲のある人。

<心理学専攻（博士後期課程）>

今日の高度情報化社会における人間心理の複雑化と深刻な問題に専門家として対応できる研究者および実践家を目指す人。

◆経営学研究科

より高度な経営能力を身に付けたい人、または、経営能力のスキルアップを目指す人。
なお、学部程度の経営学の知識があることが望ましい。

◆生涯福祉研究科

- 1 幼児期の保育・発達支援から高齢者支援に至る生涯福祉領域に関心を持ち、ソーシャルワーク、発達支援、介護支援の高度な専門的能力の修得に意欲を持つ人。
- 2 大学院修了後に福祉関連領域の研究者を目指して努力する人。
- 3 児童・障害・高齢者・精神保健などの社会福祉施設や教育機関で相談支援、介護、生活支援、施設運営、保育や幼稚園教育などに従事し、キャリアアップやリカレントの意志をもって実践的研究を目指す人。
- 4 留学生のうち、将来母国の福祉や保育・発達支援領域の仕事に従事したいと志す人。

◆言語文化研究科

- 1 専攻に関わる言語の運用能力の涵養と更なる向上に強い意欲を持つ人
- 2 専攻に関わる言語の高度な運用能力を活かした職業（教員・実務家・公務員等）に就くことを希望している人
- 3 各言語文化の分野において、将来、専門的な研究に従事することを希望している人

<日本語・日本語教育専攻>

- 1 自らの日本語運用能力の更なる向上に強い意欲を持つ人
- 2 外国人に日本語を教える日本語教員になることを希望している人、あるいは現職の日本語教員で自らの指導技術の更なる向上を目的としている人
- 3 中等教育における国語科担当教員を志望している人、あるいは現職の国語科担当教員で自らの指導技術の更なる向上を目的としている人
- 4 将来、日本語学や日本語教育学の分野において専門的な研究に従事することを希望している人
- 5 通訳・翻訳家を目指している者、あるいは高度な日本語力を活かした職業に就くことを希望している人

<中国・韓国言語文化専攻>

- 1 中国または韓国の言語文化に大きな関心を寄せ、これらについての専門的知識を修得することに強い意欲を持つ人
- 2 中国語または韓国語をすでにある程度習得していて、自らの運用能力の更なる向上に強い意欲を持つ人
- 3 中国語または韓国語の高度な運用能力を活かして、将来的に長期留学あるいは現地での就職を計画している人
- 4 中国と日本、あるいは韓国と日本の間を往復しつつ文化的・経済的活動に従事している者、または過去にそのような経験を有する人

◆看護学研究科

- 1 研究をととして健康課題の解決に取り組みたいと考えている人
- 2 キャリア形成を志向し、リーダーシップを発揮したいと考えている人
- 3 看護学の教育者・研究者を目指す人

◆リハビリテーション学研究科

- 1 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の有資格者を対象として、各専門職者の臨床経験に基づく実践的研究を遂行しようとする人
- 2 リハビリテーションの各分野の様々な課題に積極的に取り組む意欲を持ち、高度の専門的知識と研究推進力を身につけることを目指す人
- 3 各分野の養成教育や研究職へのキャリア形成を目指す人